



News Release

2022年10月27日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

NO チェック, NO リユース！ ～安全に使うための5つのチェックポイント～

1. 関東甲信越地方の中古品（リユース品）の事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2017年度から2021年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、中古品の事故は94件ありました。中古品の事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2017年度				7	3	9	7	1			27
	(内数)火災事故				(4)	(3)	(6)	(6)				(19)
	2018年度		1	3	2	2	6	3	4			21
	(内数)火災事故		(1)	(1)	(2)	(1)	(5)	(2)	(3)			(15)
	2019年度			2	1	3	8	7			2	23
	(内数)火災事故			(2)	(1)	(3)	(7)	(5)			(2)	(20)
	2020年度		1	1	1		3	1	1			8
	(内数)火災事故		(1)				(2)	(1)	(1)			(5)
2021年度	2			2	2	8	1				15	
(内数)火災事故	(2)			(2)	(1)	(6)					(11)	
合計	2	2	6	13	10	34	19	6	0	2	94	
(内数)火災事故	(2)	(2)	(3)	(9)	(8)	(26)	(14)	(4)	(0)	(2)	(70)	

安全とあなたの未来を支えます

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡					1	1	1			3	
		(内数)火災事故											(0)
		重傷			2	1		1	1	1			6
		(内数)火災事故											(0)
	物的被害	軽傷					1	2	2				5
		(内数)火災事故					(1)	(1)	(1)				(3)
		拡大被害	1	2	4	7	7	15	13	2		2	53
		(内数)火災事故	(1)	(2)	(3)	(6)	(6)	(14)	(12)	(2)		(2)	(48)
	被害なし	製品破損	1			5	2	15	1	2			26
		(内数)火災事故	(1)			(3)	(1)	(11)	(1)	(2)			(19)
被害なし								1				1	
(内数)火災事故								(0)				(0)	
合計		2	2	6	13	10	34	19	6	0	2	94	
(内数)火災事故		(2)	(2)	(3)	(9)	(8)	(26)	(14)	(4)	(0)	(2)	(70)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	総計	
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの			1	5		6	3				15	
		(内数)火災事故			(1)	(1)		(4)	(3)				(9)
	B 製品および使い方に問題があったもの												0
		(内数)火災事故											(0)
	C 経年劣化によるもの				1		1	2	1				5
		(内数)火災事故				(1)		(1)	(2)	(1)			(5)
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの			1	1	2	4	5	3				16
		(内数)火災事故		(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(2)				(13)
	小計		0	1	2	8	4	12	8	1	0	0	36
	(内数)火災事故		(0)	(1)	(2)	(4)	(3)	(9)	(7)	(1)	(0)	(0)	(27)
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送などに問題があったもの						1					1	
		(内数)火災事故											(0)
	E 誤使用や不注意によるもの		1					5	4	2			12
		(内数)火災事故		(1)				(4)	(2)	(1)			(8)
	F その他製品に起因しないもの				2		2	3	1	2			10
		(内数)火災事故			(1)		(2)	(3)		(2)			(8)
小計		0	1	2	0	2	9	5	4	0	0	23	
(内数)火災事故		(0)	(1)	(1)	(0)	(2)	(7)	(2)	(3)	(0)	(0)	(16)	
その他	G 原因不明なもの		1		1	3	3	9	6	1		2	26
		(内数)火災事故	(1)			(3)	(2)	(6)	(5)			(2)	(19)
	H 調査中のもの		1		1	2	1	4					9
		(内数)火災事故	(1)			(2)	(1)	(4)					(8)
	小計		2	0	2	5	4	13	6	1	0	2	35
(内数)火災事故		(2)	(0)	(0)	(5)	(3)	(10)	(5)	(0)	(0)	(2)	(27)	
合計		2	2	6	13	10	34	19	6	0	2	94	
(内数)火災事故		(2)	(2)	(3)	(9)	(8)	(26)	(14)	(4)	(0)	(2)	(70)	

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① リコール対象製品による事故

- ・ 2017年11月、東京都、製品破損

(事故内容)

譲渡された電気カーペットを焼損する火災が発生した。

(事故原因)

電気カーペットの温度コントローラー内部のリレー接点回路には、リレーの寿命を延ばすために接点の溶着を回避する機能が内蔵されており、長期間の使用が可能となったが、リレー接点が開閉を重ねることにより、金属粉が温度コントローラーのリレー接点回路の内部に堆積し、湿気の影響も受け、ショートし、コントローラーのケースが一部溶融したものと考えられる。

② 経年劣化など不具合のある製品による事故

(長期使用により劣化したサーキュレーターから発火)

- ・ 2017年10月、神奈川県、拡大被害

(事故内容)

サーキュレーター及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

サーキュレーターは、長期使用(40年以上)により、コンデンサーが絶縁劣化し、出火に至ったものと推定される。

③ 不備がある状態の製品を入手し、気付かず使用したことによる事故

- ・ 2017年7月、神奈川県、被害なし

(事故内容)

ネット通販で購入したガスこんろに点火したら、グリル排気口付近から火が出た。

(事故原因)

使用者が中古品のガスこんろを設置した際に、2つあるガス接続口の一方の閉塞栓が取り外されていることに気付かず点火確認を行ったため、開放されたガス接続口からガスが漏れてこんろの炎が引火したものと推定される。

なお、取扱説明書及び設置工事説明書には「ガス接続工事は、ガス供給業者又は有資格者が行う。正しく設置されていることを確認してから機器のガス栓を開き、取扱説明書に基づき、点火及び作動の確認を行う。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，佐藤，中野

電話：03-3481-1820